

症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
1	女 80代	骨粗鬆症 (脊椎圧迫骨折)	56.5 μ g 1回/週 7回 ↓ 中止	<p>血圧低下, 心肺停止</p> <p>投与開始日 本剤56.5μg\times1/週の投与開始。 本剤投与約30分後, 血圧は105/-mmHgから77/46mmHgと血圧低下が認められた。 本剤投与1時間後, 血圧は100/-mmHgとなり, 回復, 帰宅。</p> <p>投与開始7日後 本剤2回目投与。血圧は投与後139/-mmHg。本剤投与10分後, 血圧は100/-mmHg。 本剤投与30分後, 気分良好となり帰宅。</p> <p>投与開始14日後 本剤3回目投与。血圧は投与後103/-mmHg。本剤投与30分後, 血圧は81/-mmHg。 本剤投与1時間半後, 血圧は92/-mmHg。 本剤投与2時間後, 帰宅。</p> <p>投与開始21日後 本剤4回目投与。血圧は投与後122/-mmHg。本剤投与30分後, 血圧は118/-mmHgとなり帰宅。</p> <p>投与開始26日後 本剤5回目投与。血圧は投与後123/-mmHg。本剤投与30分後, ふらつきなく帰宅。</p> <p>投与開始32日後 本剤6回目投与。血圧は投与後121/-mmHg。本剤投与25分後, 血圧は100/-mmHg。 本剤投与1時間後, 帰宅。</p> <p>投与開始39日後 頭痛の訴えあり。本剤投与せず。 投与開始47日後 投与前の血圧は125/-mmHg。 (投与中止日) 頭痛は軽快しており, 本剤7回目投与。 血圧は101/51mmHg, 脈拍は81/min。 本剤投与30分後, 血圧は101/-mmHg。 本剤投与約70分後, 院内にて力が入りにくくなり倒れこみ, 心肺停止 (ER時), 死戦期呼吸, 冷汗発現。 本剤投与78分後, 頸動脈ふれず心肺蘇生開始。蘇生。 本剤投与82分後, 心肺蘇生により自己心拍再開, 意識レベルJCS I-2, 血圧は149/79mmHg, 脈拍95/min, SpO2 (動脈血酸素飽和度) 100%となり会話も可能となる。 以後経過観察するも, 血液, 心エコー著変なし。心電図異常なし。</p> <p>中止6日後 経過良好にて退院。本剤投与中止。</p>

臨床検査値

	投与開始日	投与開始日	投与開始日	投与開始7日後	投与開始7日後
	—	約30分後*	1時間後*	投与後	10分後*
収縮期血圧 (mmHg)	105	77	100	139	100
拡張期血圧 (mmHg)	—	46	—	—	—

	投与開始14日後	投与開始14日後	投与開始14日後	投与開始21日後	投与開始21日後	投与開始26日後
	投与後	30分後*	1時間半後*	投与後	30分後*	投与後
収縮期血圧 (mmHg)	103	81	92	122	118	123
拡張期血圧 (mmHg)	—	—	—	—	—	—

	投与開始32日後	投与開始32日後	投与開始47日後	投与開始47日後	投与開始47日後	投与開始47日後
	投与後	25分後*	投与前	—	30分後*	82分後*
収縮期血圧 (mmHg)	121	100	125	101	101	149
拡張期血圧 (mmHg)	—	—	—	51	—	79
脈拍 (/min)	—	—	—	81	—	95
SpO2 (%)	—	—	—	—	—	100

* : 投与からの時間

併用薬 : ロキソプロフェンナトリウム水和物, ランソプラゾール, インドメタシン, シタグリプチンリン酸塩水和物, アスピリン, ロスバスタチンカルシウム, グリメピリド, サルボグレラート塩酸塩, ゴピクロン, メトホルミン塩酸塩